

活動報告

2013年

- 5月 ・第1回男女共同参画推進委員会議開催 (23日)
- 6月 ・メンター決定
- ・遠隔実験支援システム稼働見学 (11日)
- 7月 ・室員の井上学長補佐が「女性が拓く未来のテクノロジー Women In Engineering 2013」に参加 (6日)
- ・参画室移転 (24日)

PICK UP!

遠隔指導が身近に!

7月11日に名古屋大学の森田美代教授(本学客員教授)が、遠隔実験支援システム(ポリコム)を利用して本学の学生指導を行いました。ポリコム利用により、遠隔においてもお互いの都合のいい時間帯にミーティング等を行うことができます。今回実際に指導を受けた学生からは、「遠隔ではありますが、密に進捗状況などの話し合いができるためメールでかかる長い時間と手間を省く事ができてとても助かります。」との感想がありました。また、一方で「難点としては、手盛りの資料などを事前に共有する事の必要性があるためノートPCの画面を同時に表示できるとさらに便利だと考えています。」とのご意見もいただきました。利用者にとってさらに便利で利用しやすい環境整備について検討していく必要があると考えました。



遠隔実験支援システムとは・・・

当初、女性研究者支援として、在宅もしくは遠隔から研究・教育活動に携わることが可能にすることを目的としていましたが、今年度からは女性研究者だけでなく、本学教員、研究者がシステムを有効に活用できるように対象者を拡大しています。

平成25年度第1回男女共同参画推進委員会議開催

5月23日に第1回男女共同参画推進委員会議が開催されました。冒頭での高比良室長の挨拶では、ここ数年の国全体および本学における女性研究者の割合や採用率などについて数値を挙げて紹介し、微増はしているがほぼ横ばいである状況について説明がありました。本学においても、優秀な女性教員を積極的に採用していく環境を整えていく必要があることについて各研究科に協力を呼びかけました。



「女性が拓く未来のテクノロジー Women In Engineering 2013」にて

室員の井上学長補佐が、「女性が拓く未来のテクノロジー～Women In Engineering 2013」に参加し、女性研究者の連携・支援の在り方について調査をしました。イベントは二部制になっており、参加者は、主催者を含め100人強でした。第1部では、3名の女性研究者、中条薫氏(富士通株式会社ユビキタスフロント事業本部)、小倉麗子氏(ソニー株式会社先端マテリアル研究所)、松尾幾代氏(アクティブリンク株式会社)がそれぞれの研究内容について講演し、自身の研究の話を分野の違う参加者にもわかるようやさしく説明され、また、研究スタイル、ライフスタイルにも時折触れることで、女性研究者として参考になる講演でした。第2部は少人数のグループに分かれてのテーブルトークで、それぞれ10名弱のグループにわかれ、女子学生のキャリアへの不安や質問に女性研究者が答えるなど、世代を超えた交流を行いました。

ワークライフバランスについてではなく
研究内容そのものを話してもらうことで
ロールモデルになる

奈良先端大 第6回男女共同参画推進シンポジウム

ワークライフバランスとキャリアデザイン～私を活かす働き方、この社会で、この時代に～

2013年10月7日(月) 15:30～18:00 奈良先端科学技術大学院大学ミレニアムホール

講演者: 川合 眞紀氏(独立行政法人 理化学研究所 理事、
東京大学大学院新領域創成科学研究科客員教授)

浜田恵美子氏(名古屋工業大学大学院産業戦略工学専攻教授)

吉田 存方氏(三井化学株式会社 人事部グローバルHRグループリーダー、
人材開発グループリーダー)

奈良先端大では第6回男女共同参画推進シンポジウムを物質創成科学研究科と共催で開催します。アカデミックや企業の現場で活躍しておられる講師をお呼びし、これからのキャリアの積み方やアカデミックと企業の働き方の違いなどとともに、男女共同参画の現状、課題などについてご講演いただき、今後に向けて個人への意識啓発となることを目指します。幅広い方々の参加をお待ちしております。

病時保育について

働く親にとって一番大変なのは子どもが体調を崩した時。子どものことは心配だけど、どうしても仕事を休めない！そんな時ってありませんか？生駒市では阪奈中央病時保育園において病時保育がスタートされました。子どもさんが体調を崩し、保育園や幼稚園、学校をお休みせざるを得ない時でも、医師（阪奈中央病院小児科）の診断により許可ができれば、専門のスタッフに安心して預けることができます。

利用対象者：生駒市民で生後5カ月から就学前までの幼児
小学1年生～6年生までの小学生

保育時間：8:30～18:00

利用料金：1日2,000円 400円で食事とおやつがつかます。

詳しくはこちらのサイトをご覧ください <http://www.kuriokagakuen.ac.jp/byoji/>



参画室の役割と活動

メンター制度

各研究科長からの推薦により今年度のメンターが決定しました。（バイオ2名、情報3名、物質3名）メンター制度は参画室が設置しているワークライフバランス相談窓口において、「出産や育児と研究を両立させるコツ」や「女子大学院生やポストクの将来設計」など、経験者からのアドバイ스가有効と思われる相談内容についてメンターの教員の方々からアドバイス等を寄せていただくものです。本学においてはメンターの氏名等は非公開としていますが、質問者とメンター双方の合意があれば、直接相談にのってもらうこともできます。



今年度のメンターが決まりました。



今後の活動予定

- 10月 ・第2回男女共同参画推進委員会議
- ・井上学長補佐が首都大学東京でのシンポジウムにて講演（4日）
- ・第6回男女共同参画推進シンポジウム開催（7日）

お知らせ

参画室が引っ越しました

7月24日、参画室が引っ越しました。学際融合領域研究棟2号館3階から事務局棟の1階へ移りました。学生課の隣で、キャリア支援室と同室です。これに伴い、ワークライフバランス相談窓口、ランチミーティングも新しい場所になります。電話番号、メールアドレスは変更ありません。場所の確認と部屋がどんな風になったのかをぜひ見に行ってください。

場 所：事務局棟1階（学生課隣）
TEL：0743-72-5137/5138（変更なし）
E-mail：sankaku-jimu@ad.naist.jp（変更なし）



中にも 外にも
情報があります。

ワークライフバランス相談窓口

福祉や育児に関する行政サービスの情報提供や研究と生活の両立についての悩みなど、幅広く女性研究者のワークライフバランスに関わる相談を受け付けておりますので、お気軽にお越しください。

受付窓口：男女共同参画室内受付または専用メールアドレス
受付時間：月曜日～金曜日 10:00～12:00/ 13:00～16:00
直通TEL：0743-72-5138
専用E-mail：wlb-soudan@ad.naist.jp